



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 キックマン株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2801 URL <http://www.kikkoman.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 染谷 光男

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起

TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	141,834	△1.2	9,363	△9.0	8,176	△9.8	4,391	△3.3
23年3月期第2四半期	143,609	△0.1	10,290	△15.1	9,067	△16.9	4,539	△22.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △1,587百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △2,965百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	21.41	—
23年3月期第2四半期	22.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	293,264	157,598	53.2
23年3月期	298,867	162,600	53.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 156,029百万円 23年3月期 160,730百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	281,500	△0.7	18,500	△3.7	16,500	△1.5	10,200	31.3	49.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	210,383,202 株	23年3月期	210,383,202 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	5,271,821 株	23年3月期	5,259,613 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	205,118,550 株	23年3月期2Q	206,383,667 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

(1) 第2四半期決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しています。

(2) 第2四半期決算説明会資料は、当社ホームページに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
(4) 追加情報	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期における世界経済は、アメリカにおける所得・雇用環境の厳しさ、ヨーロッパにおける債務問題の深刻化などにより、全体として景気の回復が弱まっており、先行きも不透明であります。日本経済は、東日本大震災の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、生産や輸出の回復により、景気は持ち直しております。

このような状況下における、当社グループの売上は、国内については、しょうゆ・食品・飲料・酒類が苦戦いたしましたが、その他の事業が前年同期を上回りました。海外については、北米・欧州・亜豪州ともに順調に売上を伸ばしております。

その結果、当第2四半期の連結業績は次の通りとなりました。

<連結業績>

(単位 百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第2四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	22年4月1日～ 22年9月30日		23年4月1日～ 23年9月30日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
	金 額	売上比	金 額	売上比						
売 上 高	143,609	100.0	141,834	100.0	△1,774	98.8	—	△5,301	3,527	102.5
営 業 利 益	10,290	7.2	9,363	6.6	△ 926	91.0	△0.6	△ 525	△ 401	96.1
経 常 利 益	9,067	6.3	8,176	5.8	△ 891	90.2	△0.5	△ 446	△ 444	95.1
四半期純利益	4,539	3.2	4,391	3.1	△ 148	96.7	△0.1	△ 289	141	103.1
	US\$	88.85	79.73		△ 9.12					
	EUR	114.82	114.09		△ 0.73					

<報告セグメント>

(単位 百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第2四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除		
	22年4月1日～ 22年9月30日		23年4月1日～ 23年9月30日		金 額	%	売上 比差		金 額	%	
	金 額	売上比	金 額	売上比							
国内 食料品製造 ・販売	売 上 高	76,815	100.0	73,772	100.0	△3,043	96.0	—	—	△3,043	96.0
	営業利益	3,500	4.6	2,180	3.0	△1,319	62.3	△1.6	—	△1,319	62.3
国内 その他	売 上 高	9,930	100.0	10,280	100.0	350	103.5	—	—	350	103.5
	営業利益	665	6.7	857	8.3	192	128.9	1.6	—	192	128.9
海外 食料品製造 ・販売	売 上 高	23,909	100.0	23,853	100.0	△ 56	99.8	—	△2,058	2,001	108.4
	営業利益	4,155	17.4	4,271	17.9	115	102.8	0.5	△ 362	477	111.5
海外 食料品卸売	売 上 高	42,273	100.0	43,722	100.0	1,449	103.4	—	△3,494	4,944	111.7
	営業利益	1,991	4.7	2,051	4.7	59	103.0	△0.0	△ 126	185	109.3
調整額	売 上 高	△ 9,320	100.0	△ 9,794	100.0	△ 474	—	—	252	△ 726	—
	営業利益	△ 21	—	3	—	25	—	—	△ 36	61	—
四半期連結 損益計算書 計上額	売 上 高	143,609	100.0	141,834	100.0	△1,774	98.8	—	△5,301	3,527	102.5
	営業利益	10,290	7.2	9,363	6.6	△ 926	91.0	△0.6	△ 525	△ 401	96.1
	US\$	88.85	79.73		△ 9.12						
	EUR	114.82	114.09		△ 0.73						

各報告セグメントの状況は次の通りであります。

【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

(国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

しょうゆは、家庭用分野では、前期より導入の「しぼりたて生しょうゆ」に加え、8月に新商品「いつでも新鮮卓上ボトルシリーズ」「サクサク食べる香ばし醤油オイルベース」を投入し、しょうゆの新しい価値提案に取り組みましたが、しょうゆ市場縮小の影響を受け前年同期の売上に及びませんでした。加工・業務用分野では、加工用分野が新規開拓の強化により前年を上回ったものの、外食需要の落ち込みにより業務用分野の市場環境が厳しく、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

■食品部門

つゆ類は、家庭用分野では、主力商品である「本つゆ」が前年を上回り、新商品「サラダ麺つゆ」を投入した「ストレートつゆ」や加工・業務用分野が売上を大きく伸ばし、つゆ類全体として堅調に推移いたしました。たれ類は、主力商品である「わが家は焼肉屋さん」が、TVCMと販促活動の連動により順調に推移し、たれ類全体として前年同期の売上を上回りました。「うちのごはん」は、積極的な商品開発・店頭販促活動により着実に支持層を広げ、前年同期の売上を大きく上回りました。デルモンテ調味料は、「洋ごはん☆つくろ」シリーズが順調に推移しましたが、主力のトマトケチャップが東日本大震災の影響で一部製品の製造が制約された影響もあり、前年同期の売上を下回りました。

この結果、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

■飲料部門

豆乳飲料は、8月発売の新商品「紀文豆乳500ml」や前期発売のチルドカップによる売上の伸びがあったものの、計画停電により製造品目を一時制限したこともあり、売上が前年並みとなりました。デルモンテ飲料は、引き続き持株会社制移行の効果が出ていること、新商品「スイートキャロット」が貢献したこともあり、デルモンテ飲料全体として前年同期の売上を上回りました。

この結果、収益改善に向けた一部商品の販売終了の影響もあり、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

■酒類部門

本みりんは、家庭用分野では、主力商品の「マンジョウ芳醇本みりん」をはじめとする1L容器の販促を継続しましたが、前年同期の売上を下回りました。加工用分野でのユーザー向け原料販売の不調や業務用分野での外食需要落ち込みによる販売の苦戦もあり、本みりん全体として前年同期の売上を下回りました。ワインは、「フランスの食卓」「酵母の泡」等の「新生マンズワイン」商品群は順調に推移したものの、カジュアルワインの一部販売終了等の影響もあり前年同期の売上を下回りました。

この結果、部門全体として前年同期の売上を下回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上高は7 3 7 億 7 千 2 百万円（前年同期比96.0%）、営業利益は2 1 億 8 千万円（前年同期比62.3%）と、ともに前年同期を下回りました。

(国内 その他事業)

当事業は、臨床診断薬・衛生検査薬・加工用酵素等、ヒアルロン酸等の化成品等の製造・販売、不動産賃貸、運送事業及びグループ会社内の間接業務の提供等を行っております。

ヒアルロン酸は前年同期の売上を大きく上回り、化成品等全体として好調に推移いたしました。また、運送事業は、売上、利益ともに順調に推移いたしました。

この結果、国内 その他事業の売上高は1 0 2 億 8 千万円（前年同期比103.5%）、営業利益は8 億 5 千 7 百万円（前年同期比128.9%）と、ともに前年同期を上回りました。

【海外】

海外における売上の概要は次の通りであります。

(海外 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外向けの輸出販売及び海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

北米市場においては、家庭用分野では、引き続き主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料などを拡充し、当社のブランド力を生かした事業展開を行ってまいりました。また、加工・業務用分野では顧客のニーズに合わせたきめ細かい対応を行ってまいりました。この結果、現地通貨ベースで順調に伸長しました。

欧州市場においては、2桁成長を達成しました。特にロシアの業務用向けの出荷は大きく伸長し貢献しました。

アジア・オセアニア市場は、アセアン地域を中心に売上を伸ばし、前年同期の売上を大きく上回りました。

この結果、部門全体として前年同期の売上を上回りました。

■デルモンテ部門

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。

当期は韓国市場で売上が回復し、中国市場での売上が増加しました。また、主要市場である香港も堅調に推移したことから、部門全体として、前年同期の売上を大きく上回りました。

■その他食料品部門

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。

昨年下半年から進めてきた、パーソナルケアブランド「デザート・エッセンス」の大幅リニューアルの効果が出始めたこと、医師からの斡旋販売が引き続き堅調であることなどから、現地通貨ベースで伸長しました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上高は238億5千3百万円（前年同期比99.8%）と前年同期を下回りましたが、現地通貨ベースでは増収となりました。営業利益は42億7千1百万円（前年同期比102.8%）と前年同期を上回りました。

(海外 食料品卸売事業)

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

放射能被害の懸念によって厳しくなっていた欧州・アジア各国の輸入規制は、第2四半期以降緩和されてきており、香港など一部地域における日本産品の風評被害の影響も減少してきております。北米や欧州、オセアニアでは引き続き日本食ブームが拡大し、現地通貨ベースで順調に伸長しました。その結果、部門全体の売上は前年同期を上回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上高は437億2千2百万円（前年同期比103.4%）、営業利益は20億5千1百万円（前年同期比103.0%）と、ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期の連結業績は、売上高は1,418億3千4百万円（前年同期比98.8%）、営業利益は93億6千3百万円（前年同期比91.0%）、経常利益は81億7千6百万円（前年同期比90.2%）、四半期純利益は43億9千1百万円（前年同期比96.7%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、1,031億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ63億8百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は1,901億2千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億5百万円増加いたしました。これは主に、土地が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、2,932億6千4百万円となり、前連結会計年度に比べ56億2百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、607億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ192億6千5百万円増加いたしました。これは主に、1年内償還予定の社債が増加したことによるものであります。固定負債は、748億9千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ198億6千5百万円減少いたしました。これは主に、社債が減少したことによるものであります。

この結果、負債の部は1,356億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は、1,575億9千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億2百万円減少いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は53.2%（前連結会計年度末は53.8%）となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期における現金及び現金同等物の四半期期末残高は、205億1千3百万円となりました。これは、前連結会計年度末に比べ現金及び現金同等物が83億4千1百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における活動ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、70億5千2百万円の収入となりました。これは、たな卸資産の増加、法人税等の支払等の支出があったものの、税金等調整前四半期純利益、減価償却費等の収入が上回ったことによることとあります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、110億4千5百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、27億4千7百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、為替レートが想定以上の円高で推移しており、下期も円高基調が継続すると判断しております。この円高による為替換算の影響および厳しい市場環境における国内業績回復の遅れを勘案し、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益をそれぞれ引下げております。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成23年6月23日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

平成23年5月12日の決算短信で発表しました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	288,000	19,500	17,300	10,700	52.16
今回修正予想 (B)	281,500	18,500	16,500	10,200	49.73
増減額 (B-A)	△6,500	△1,000	△800	△500	—
増減率 (%)	△2.3	△5.2	△4.6	△4.7	—
前期実績	283,463	19,208	16,751	7,770	37.74

※ 為替レートの前提 前回発表予想 通期 US\$ 80.0円 EUR 115.0円
今回発表予想 通期 US\$ 77.5円 EUR 107.5円

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

連 結（新規） キッコーマンバイオケミファ(株) （新規設立）
（除外） REACTION SALES CL UK LIMITED （清算）

なお、(株)フードケミファは平成23年4月1日付で、キッコーマンソイフーズ(株)に社名変更いたしました。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

- (4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

連結納税制度の適用

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,247	21,906
受取手形及び売掛金	39,029	39,459
有価証券	131	131
商品及び製品	19,063	19,630
仕掛品	8,699	9,603
原材料及び貯蔵品	3,221	3,490
繰延税金資産	4,988	5,221
その他	4,485	4,075
貸倒引当金	△421	△382
流動資産合計	109,445	103,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,920	40,286
機械装置及び運搬具(純額)	33,686	33,497
土地	15,548	18,346
リース資産(純額)	172	156
建設仮勘定	3,712	3,377
その他(純額)	2,283	2,193
有形固定資産合計	96,323	97,857
無形固定資産		
のれん	25,189	24,352
その他	2,593	3,014
無形固定資産合計	27,782	27,366
投資その他の資産		
投資有価証券	51,944	51,645
長期貸付金	1,318	1,322
繰延税金資産	2,820	2,756
その他	10,703	10,748
貸倒引当金	△1,472	△1,569
投資その他の資産合計	65,315	64,903
固定資産合計	189,421	190,127
資産合計	298,867	293,264

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,626	15,021
短期借入金	5,054	5,071
1年内償還予定の社債	—	20,000
リース債務	71	67
未払金	12,711	11,466
未払法人税等	2,030	1,460
賞与引当金	2,187	2,452
役員賞与引当金	80	42
投資損失引当金	267	—
災害損失引当金	493	253
その他	3,981	4,933
流動負債合計	41,504	60,769
固定負債		
社債	60,000	40,000
長期借入金	19,555	20,036
リース債務	123	115
繰延税金負債	2,287	2,149
退職給付引当金	3,922	4,059
役員退職慰労引当金	1,099	1,059
環境対策引当金	348	346
工場閉鎖損失引当金	209	209
その他	7,216	6,921
固定負債合計	94,762	74,897
負債合計	136,266	135,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	21,210	21,209
利益剰余金	156,248	157,557
自己株式	△5,214	△5,223
株主資本合計	183,844	185,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,230	△1,119
繰延ヘッジ損益	△0	△20
為替換算調整勘定	△21,194	△27,350
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	△688	△623
その他の包括利益累計額合計	△23,113	△29,113
新株予約権	179	179
少数株主持分	1,690	1,389
純資産合計	162,600	157,598
負債純資産合計	298,867	293,264

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	143,609	141,834
売上原価	84,179	83,927
売上総利益	59,429	57,907
販売費及び一般管理費	49,138	48,543
営業利益	10,290	9,363
営業外収益		
受取利息	106	53
受取配当金	323	311
持分法による投資利益	195	144
受取賃貸料	288	243
為替差益	801	785
その他	669	413
営業外収益合計	2,384	1,952
営業外費用		
支払利息	733	706
デリバティブ評価損	659	764
その他	2,214	1,668
営業外費用合計	3,607	3,139
経常利益	9,067	8,176
特別利益		
有形固定資産売却益	599	4
投資有価証券売却益	94	15
その他	30	65
特別利益合計	724	86
特別損失		
減損損失	—	427
固定資産除却損	314	39
投資有価証券評価損	437	43
ゴルフ会員権評価損	9	3
投資損失引当金繰入額	320	—
退職特別加算金	377	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	128	—
上海万博出展費用	315	—
関係会社社名変更費用	—	70
災害による損失	—	473
その他	192	83
特別損失合計	2,094	1,141
税金等調整前四半期純利益	7,698	7,121
法人税等	3,116	2,696
少数株主損益調整前四半期純利益	4,581	4,424
少数株主利益	41	33
四半期純利益	4,539	4,391

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,581	4,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,112	123
繰延ヘッジ損益	△16	△3
為替換算調整勘定	△6,081	△6,065
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	21	64
持分法適用会社に対する持分相当額	△358	△130
その他の包括利益合計	△7,547	△6,011
四半期包括利益	△2,965	△1,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,001	△1,608
少数株主に係る四半期包括利益	35	21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,698	7,121
減価償却費	5,748	5,914
減損損失	—	427
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	235	153
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△60	△39
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△240
受取利息及び受取配当金	△440	△364
支払利息	733	706
持分法による投資損益 (△は益)	△195	△144
有形固定資産売却損益 (△は益)	△605	△12
投資有価証券売却損益 (△は益)	△94	△15
有形固定資産除却損	364	141
投資有価証券評価損益 (△は益)	437	44
売上債権の増減額 (△は増加)	△573	△1,759
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,403	△3,156
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,213	1,326
その他	2,033	470
小計	15,092	10,572
利息及び配当金の受取額	647	551
利息の支払額	△710	△686
法人税等の支払額	△2,861	△3,384
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,167	7,052
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,655	△10,036
有形固定資産の売却による収入	637	30
無形固定資産の取得による支出	△284	△575
投資有価証券の取得による支出	△99	△202
投資有価証券の売却による収入	105	22
貸付けによる支出	△67	△246
貸付金の回収による収入	358	115
その他	243	△152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,762	△11,045
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,823	49
長期借入れによる収入	—	445
長期借入金の返済による支出	△159	△100
自己株式の取得による支出	△22	△14
配当金の支払額	△3,101	△3,082
少数株主への配当金の支払額	△9	△6
その他	△98	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,213	△2,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,473	△1,600
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△283	△8,341
現金及び現金同等物の期首残高	25,008	28,855
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	35	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,760	20,513

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	76,282	4,223	20,994	42,109	143,609	—	143,609
セグメント間の内部売上高 又は振替高	533	5,706	2,915	164	9,320	(9,320)	—
計	76,815	9,930	23,909	42,273	152,929	(9,320)	143,609
セグメント利益	3,500	665	4,155	1,991	10,312	(21)	10,290

(注) 1. セグメント利益の調整額△21百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	73,205	4,161	20,886	43,581	141,834	—	141,834
セグメント間の内部売上高 又は振替高	567	6,119	2,966	141	9,794	(9,794)	—
計	73,772	10,280	23,853	43,722	151,629	(9,794)	141,834
セグメント利益	2,180	857	4,271	2,051	9,360	3	9,363

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。